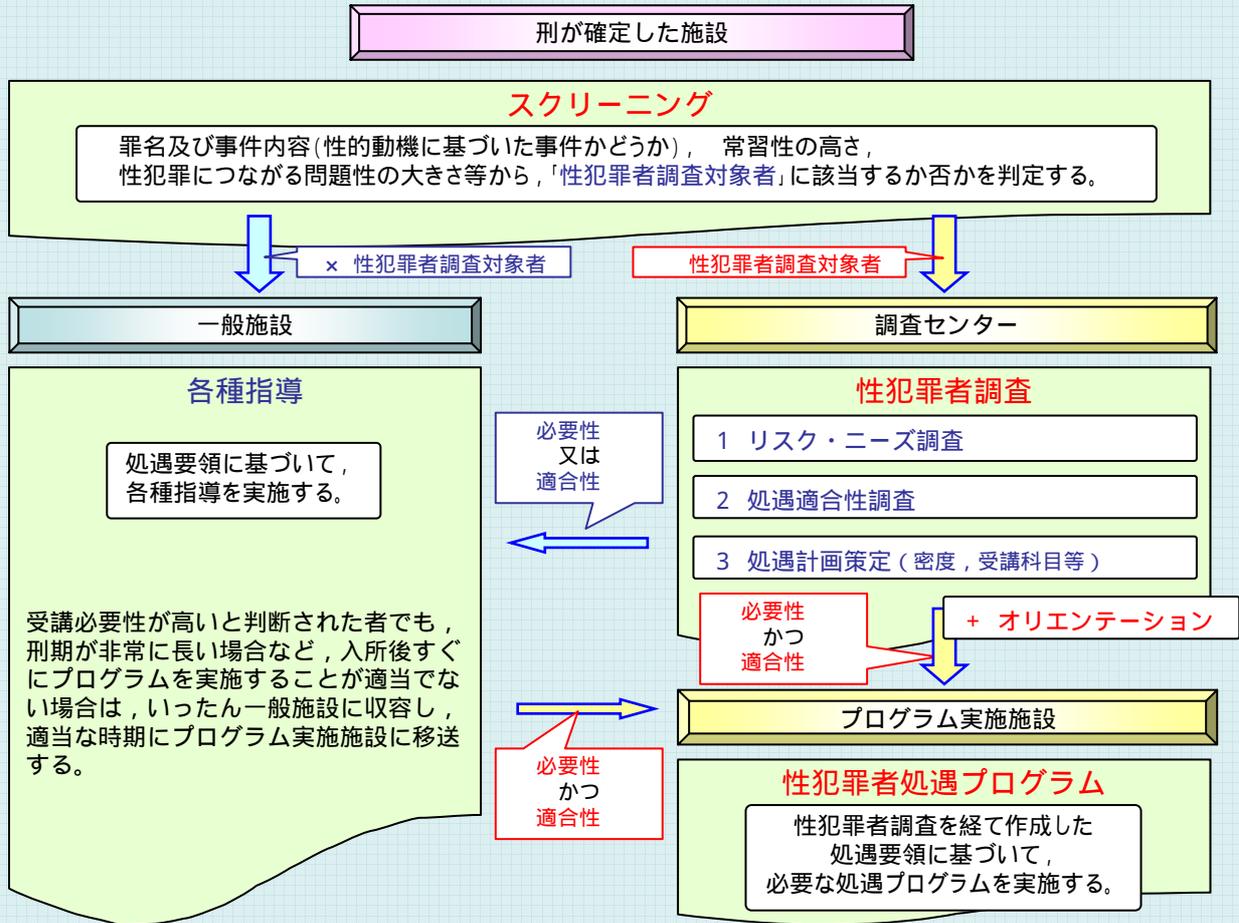
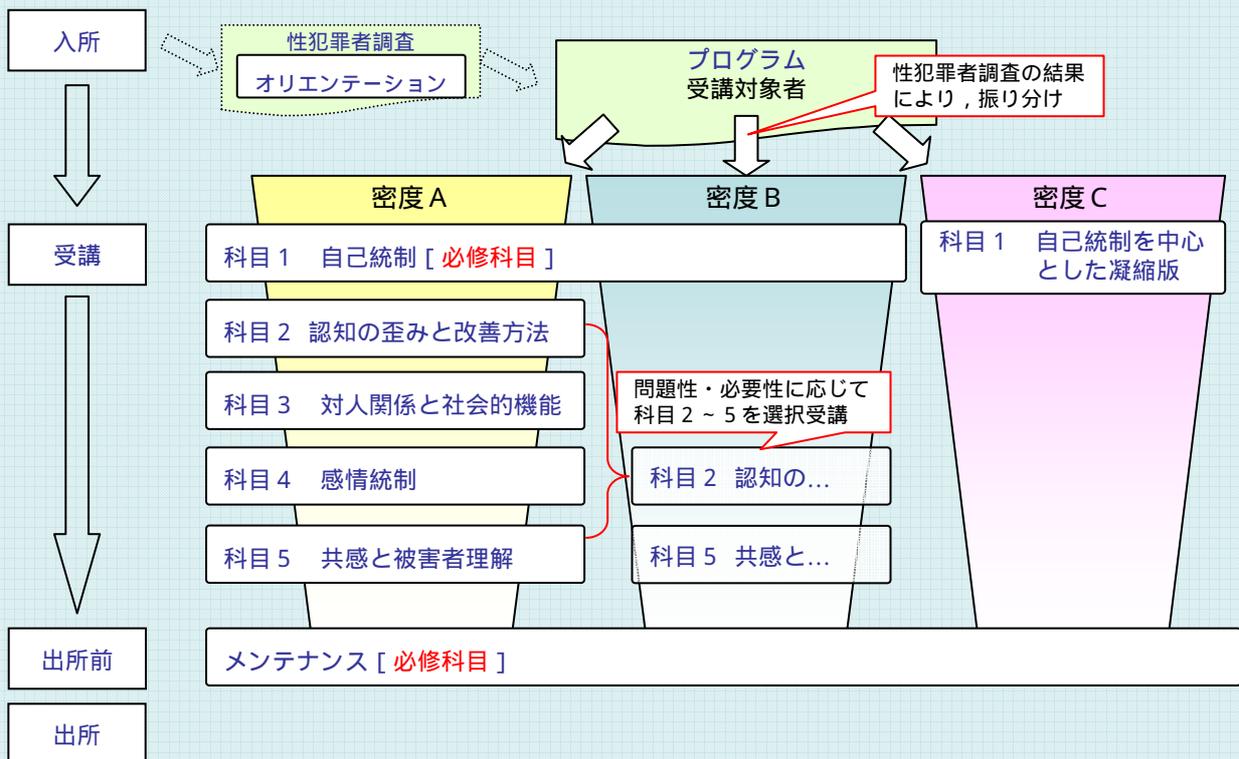


矯正施設における性犯罪者処遇プログラム概要

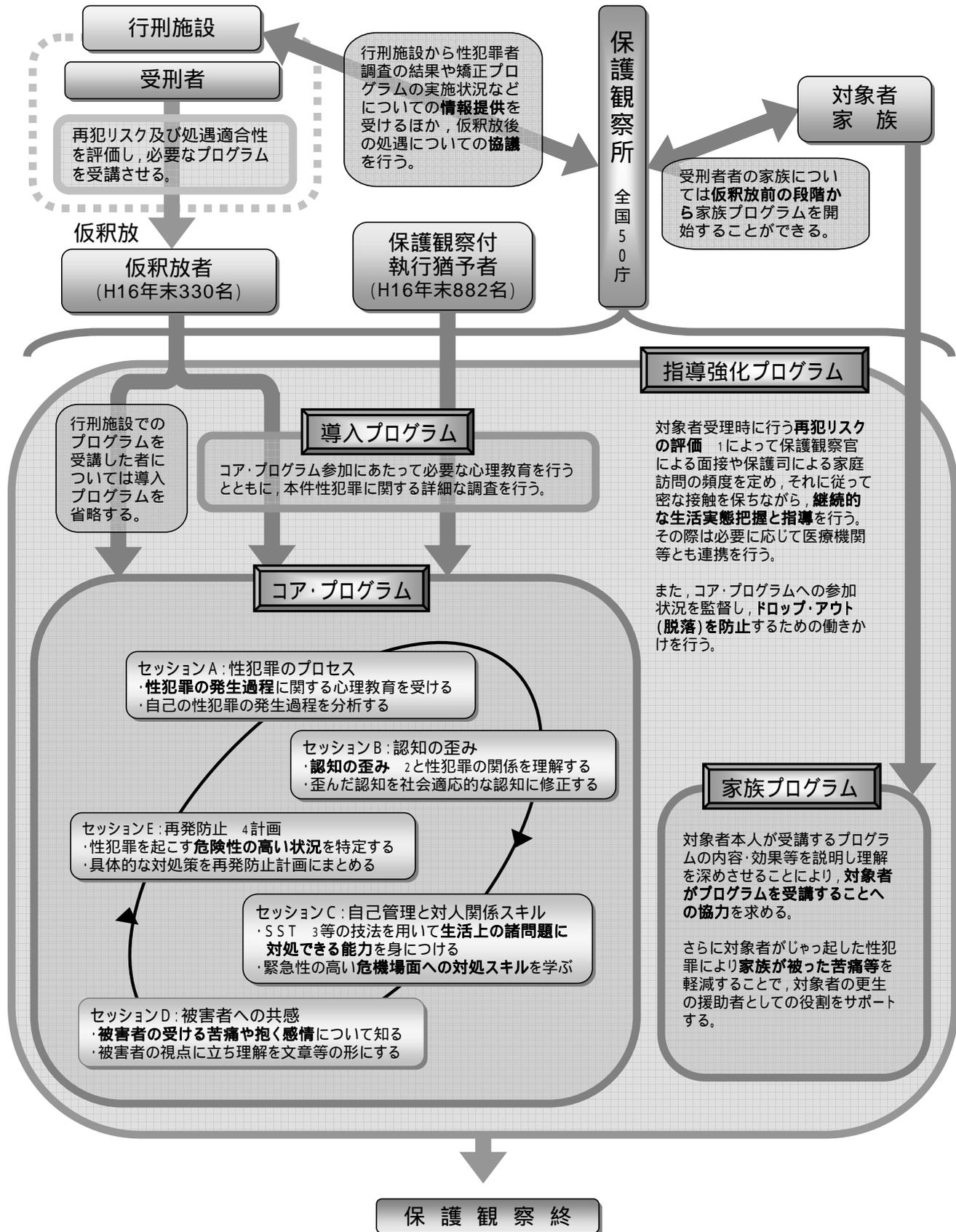
プログラム対象者・収容施設選定の流れ



プログラムの構造



保護観察所における性犯罪者処遇プログラム概要



1「再犯リスクの評価」：過去の性犯罪歴や犯行の様態などから、その対象者の再犯の危険性を査定する。また、その際の評価ツールは矯正施設と同様のものを用いる。
 2「認知の歪み」：誤った思いこみや決めつけといった考え方の偏りのこと。ここでは特に性に関するものを取り上げる。
 3「SST」：社会生活技能訓練の略であり、認知行動療法の技法のひとつ。対人場面の練習を主とする。
 4「再発防止」：リラプス・プリベンション技法ともいい、認知行動療法の技法のひとつ。再発(性犯罪の再犯)につながるできごとや状況(日々のストレス等)を特定し、それらに対処する方法を具体的に習得するもの。